

目 次

はじめに i

第 I 部 本書の枠組み

序 章 多様な大学院教育の基盤を探る	2
1 問題意識・目的・課題	2
2 研究の枠組み	6
3 研究の方法と本書の構成	14
第 1 章 大学院教育の多様性の系譜と学位	18
1 大学院教育の多様性の系譜 ——研究者養成と専門職養成	18
2 研究学位と専門職学位 ——教育機能上の分類	30
3 その他の学位分類 ——学位名称による分類／専門分野による分類	36
4 研究学位と専門職学位の対比の妥当性と限界	43

第 II 部 アメリカの大学院の概要

第 2 章 大学院の成立 ——研究者養成と専門職養成の双方の観点から——	48
1 研究者養成と専門職養成の両方から大学院成立を捉える	48
2 19 世紀前半までのアメリカ ——大学院形成の第 1 段階（助走段階）	50

- 3 研究者 (Ph.D.) 養成の組織化
——大学院形成の第2段階 57
- 4 伝統的専門職養成の大学院化
——大学院形成の第3段階① 72
- 5 新たな専門職養成の拡大
——大学院形成の第3段階② 85
- 6 アメリカ的ユニバーシティと大学院 91

第3章 アメリカの大学院のマクロな枠組み 96

- 1 量的にみた現在の大学院のマクロ構造 96
- 2 現在までの大学院の拡大プロセス 101
- 3 大学院教育の国際化 110
- 4 大学院教育の質と量の調整に関わる制度・組織 114
- 5 高等教育システムの階層構造と大学院 131
- 6 大学院のマクロ構造 138

第III部 研究大学の大学院の組織的基盤

第4章 スクールの二元モデル再考 145

- 1 文理大学院とプロフェッショナル・スクールという「二元モデル」 145
- 2 スクールと学位プログラムの対応関係 147
- 3 限定的な「二元モデル」 159

第5章 大学組織と大学院 164

- 1 大学を構成する基本的な組織
——カレッジとスクール 165
- 2 カレッジやスクールを構成する基本組織
——プログラムとデパートメント 170
- 3 大学院のスクール
——3種類の「グラジュエート・スクール」 177
- 4 大学組織の多様性 179

第6章 機関レベルの大学院管理 181

- 1 全学的な大学院管理方式の3パターン 182
- 2 全学的な大学院管理組織の守備範囲 192
- 3 大学院教育に対する大学の関与のパターン 202
- 4 全学的な管理組織と個別スクールの役割分担 207
- 5 全学的な大学院管理の構造と直面する問題 218

第7章 スクール・レベルの大学院教育の組織と運営 222

- 1 大学院プログラム運営の分析枠組み 222
- 2 スクール別にみた大学院教育の運営 227
- 3 大学院プログラム運営のパターンとその規定要因 257
- 4 大学院プログラム運営における研究学位と専門職学位との違い 265

補 論 スクールにおける多様性への組織的対応

——マトリクス組織—— 269

第IV部 研究大学の大学院の経済的基盤

第8章 大学院教育の財源と資金の流れ

——スクールの重要性—— 278

- 1 大学院教育の経済的基盤の把握の難しさ 278
- 2 資金のフロー 281
- 3 スクールの財務運営の自律性 284
- 4 スクールに集まる大学院教育の資金 291

第9章 大学院プログラムの経済的基盤 295

- 1 大学院教育の経済的基盤を分析する枠組み 295
- 2 スクールの財源内訳のたまかな特徴 298
- 3 スクール別にみた大学院プログラムの経済的基盤 300
- 4 大学院プログラムの多様性 331

第10章 大学院教育の経済的基盤の特徴335

- 1 大学院生への経済的支援 335
- 2 研究経済と専門職経済 340
- 3 分権的な大学院運営 345
- 4 多様な内部補助 354

第11章 スクールの大学院経営367

- 1 スクールの大学院経営の4モデル 367
- 2 スクールの大学院経営のパターン 374
- 3 バランスを調整するメカニズム 377
- 4 多様性を支えるスクール 386

終章 大学院教育の基盤の変化と日本への示唆389

- 1 研究大学における大学院教育とその組織的・経済的基盤 389
- 2 変化する大学院教育とその社会的基盤 401
- 3 日本の大学院を考えるために 407

注 413

参考文献 459

あとがき 473

索引 477